

移住した皆さんに
インタビュー



小野町

移住した皆さんをご紹介する当コーナーも第8回を迎えます。移住のきっかけとして最も多いのは、やはり「定年退職」です。町に寄せられる田舎暮らしの相談者も50代から60代の男性が大部分です。前回に引き続き、定年後のライフスタイルについて考えた結果、移住されたご夫婦をご紹介します。

千葉慶一郎さん、連子さんご夫妻（上羽出庭）

◆いつ小野町へ移住しましたか？

平成11年に静岡県から移住しました。仙台で子ども時代を過ごしたのでJターンになります。

◆なぜ移住しようと思いましたか？

50歳ごろから、定年後の生活スタイルや本当の意味での豊かな生活とは何かということを考えるようになりました。そして、土に触れながら野菜や花を自分で育てる農的な生活が自分にとっての豊かな生活であるという結論に至り、第二の人生を田舎で暮らすことを決めました。

◆どのように移住先を決めましたか？

広い土地を求めて、様々な地域をまわりました。阪神大震災があったので、活断層がないところ、地震に強い地域を探しました。住むところ、働くところがうまく見つかったこともあり、小野町に移住することを決めました。

初めて「小野町」という名称を目にしたとき、町の名前が素敵だなと感じていました。この町に縁があったのだろうと今は思っています。

◆移住後の生活はいかがでしたか？

購入した家の持ち主が、町を案内してくださり、地域の人も紹介してくださいました。また、仕事を通して顔なじみも増えました。人に恵まれて、すんなりと地域に溶け込むことができました。

◆小野町の魅力は何ですか？

様々なライフスタイルにいかようにも対応できる町だと思います。農家もできるし、自然を楽しむこともできます。「小野町の宝探し」を今後のライフワークにして、さらに魅力を発見していきたいと思っています。

「すっかり小野町民なので…」とおっしゃっていましたが、快く取材にご協力いただきました。「町の素晴らしい自然は、先人が努力して残してきた風景であり、自分たちはこの土地に住まわしてもらっていると思っています。」という言葉が印象的でした。

お忙しい中、インタビューにご協力いただき、ありがとうございました。